

---

# 桃太郎かもしれない

五月雨

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

桃太郎かもしない

### 【ZPDF】

Z0807X

### 【作者名】

五月雨

### 【あらすじ】

ハッピーハンダでコセツ＆ロード。

(前書き)

むかしむかしの物語。

この物語は、ハッピーホンドまで終わりません。

むかしむかし、あるところに

おばあさん：桜田 梅（さくらだ うめ  
おじいさん：桜田 清照（”きよてる

が、すんでいました。

おじいさんとおばあさんは芝刈りに仲良く出かけていました。  
そのころ川に桃が流れているのを金太郎が見つけました。  
その場で握りつぶしたら、果汁と一緒に赤い赤い液体が流れ出できました。

どうしたものかとあせつた金太郎は、  
桃を川に投げ捨てましたとぞ。

2

おじいさんとおばあさんは、

二人で仲良く川に洗濯に行きました。  
すると、桃が流れてくるではありませんか！

「あら、大きな桃。」

「本當だ、すごく大きいね。」

「でも、桃は嫌いだから、あんなにあつても仕方ないわね  
・・・スルーしましたとさ

3

おじいさんは山に芝刈りに

おばあさんは、川に洗濯に。

すると竹が光っているではありませんか！

おじいさんは光る節の部分をわって開けてみました。

やじこせあくわい可愛い女の子が・・・

4

おじこせあんとおばあせんは病氣でねていましたとれ。

5

おじこせんは銀行強盗へ

おばあせんは暴力団の集会へ行きました。  
するとおばあせんは、街中で桃を見つけました。

「まあ、大きな桃ね。誰か勇氣のあるものはアレを盗つてもらわせ  
おばあせんは暴力団の総長でした。

おじいせんはつかまりました。

6

おじいせんとおばあせんが起きるとやじこに桃がありました。

「なんだうね、これ。」

「うーん、何でしうね。」

ボケでいて分かりませんでしたとれ。

7

桃がある

おじこせんとおばあせんはそれに気がつきましたでした。

桃を食べました。

中身を捨てていたせいで氣がつきませんでした。

8

桃を買つてきました。

すると、桃を突き破つて子供が出てきました。

9

「やあ、僕は桃太郎。」

•  
•  
•

10

桃太郎がいました

思ひ道満に行き聞かせた

男はやられ、女はましめた。

1  
1

鬼退治に行きました。

森田子を忘れたせいで仲間はしないのです  
寂しさで死にました。

鬼退治をしました。

宝物を船に積む上  
沈みましたとさ。

3

おじいさんはいません。

2年前、鬼に殺されました。

おばあさんは一人、寂しく編み物をしていました。  
いつもと同じ朝日がさします。

おばあさんの頬に涙が流れました。

1  
4

桃太郎は英雄でした。

なぜなら鬼退治をしたから。  
でも今は違います。

なぜなら宝をうばって逃走し、今は鬼が島に移り住み  
「本物の鬼」  
と、呼ばれているからです。

15

桃太郎は、鬼退治に成功して  
奪われた宝を持ち帰りました。  
村人に、再び幸せが訪れました。

『そんなつまらない物語認めないわ』

村に響くその声は  
いつたい誰のものでしょうか。

めでたしめでたし。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0807x/>

---

桃太郎かもしれない

2011年10月9日15時54分発行